

# 南大沢文化会館

視点	施設名	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
				所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことが出来るか	定量的	事業計画書に基づく人員の配置 【課長1名、主任2名、管理運営9名、舞台管理5名、芸術文化事業企画担当2名】	1	B		館長1、主任2、管理運営9、舞台管理5、芸術文化事業企画担当2	B		館長1、主任2、管理運営9、舞台管理5、芸術文化事業企画担当2	B		館長1、主任2、管理運営9、舞台管理5、芸術文化事業企画担当2	B		館長1、主任2、管理運営9、舞台管理5、芸術文化事業企画担当2
		事業計画書に基づく有資格者の配置	2	B		・甲種防火防災管理者1名 ・上級救命技能認定者1名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者1名 ・自衛消防隊技能認定者2名 ・舞台機構調整技能2級1名 ・照明技術1級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任1名	B		・甲種防火防災管理者1名 ・防火管理者1名 ・上級救命技能認定3名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・自衛消防隊技能認定者3名 ・舞台機構調整技能士(音響)2級2名 ・舞台機構調整技能士(音響)3級1名 ・照明技術1級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任2名	B		・甲種防火防災管理者1名 ・防火管理者1名 ・上級救命技能認定3名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・自衛消防隊技能認定者3名 ・舞台機構調整技能士(音響)2級2名 ・舞台機構調整技能士(音響)3級1名 ・照明技術1級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任2名	B		・甲種防火防災管理者1名 ・防火管理者1名 ・上級救命技能認定3名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・自衛消防隊技能認定者3名 ・舞台機構調整技能士(音響)2級2名 ・舞台機構調整技能士(音響)3級1名 ・照明技術1級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任2名
		設備及び備品の点検実施回数 設備点検：37回/年【舞台関係設備24回、圧力容器13回】 備品点検：16回/年【ピアノ点検16回】	3	-	年度末の数値をもって評価する。	【設備点検】 ・舞台2回 ・照明0回 ・音響4回 ・圧力容器3回 計9回 【備品点検】 ・ピアノ点検 2回 合計11回	-	年度末の数値をもって評価する。	【設備点検】 ・舞台3回 ・照明2回 ・音響0回 ・圧力容器3回 計8回 累計17回 【備品点検】 ・ピアノ点検 6回 累計8回 合計14回 累計25回	-	年度末の数値をもって評価する。	【設備点検】 ・舞台2回 ・照明2回 ・音響4回 ・ITV0回 ・映写設備1回 ・圧力容器3回 計11回 累計28回 【備品点検】 ・ピアノ点検 4回 累計12回 合計15回 累計40回	B		【設備点検】 ・舞台3回 ・照明2回 ・音響0回 ・ITV0回 ・映写設備0回 ・圧力容器4回 計9回 累計37回 【備品点検】 ・ピアノ点検 4回 累計16回 合計13回 累計53回
定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【確認資料例：銀行口座】	4	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。
		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【確認資料例：独立した会計帳簿】	5	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか【確認資料例：独立した会計帳簿・日報・月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	6	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。
	収支計画が適正であること	7	B		新型コロナウイルスの影響はあるものの、利用料金収入は回復してきており、おおむね、当初の収支計画どおりとなっている。状況に即した適正な執行に努めており、毎月市に報告している。	B	利用料金収入は順調に推移しているとのこと。	新型コロナウイルスの影響はあるものの、利用料金収入は回復してきており、第2四半期は予算比104.7%、上半期は予算比101.2%となった。状況に即した適正な執行に努めており、毎月市に報告している。	B	利用料金は順調に推移しているものの、予約が思うように伸びていないなど新型コロナの影響がまだあると感じている。	B	新型コロナウイルスの影響はあるものの、利用料金収入は予算比104.0%、第1四半期から第3四半期までの累計では予算比102.2%となった。状況に即した適正な執行に努めており、毎月市に報告している。			
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか【確認資料例：事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	8	B	舞台スタッフが不在のときでも、フルコンサートピアノを設置できるよう、研修を実施したとのこと。	B	事業計画どおりに人員を配置した。適切な人材育成と業務の効率化を図るため、会館独自の実務研修として、主ホールのフルコンサートピアノの取り扱い研修を実施した。	B	板橋区文化会館のバックステージツアーに積極的に参加し、実施状況を視察するとともに、その様子を職場にフィードバックし、人材育成につなげていた。	B	事業計画どおりに人員を配置した。適切な人材育成と業務の効率化を図るため、会館独自の実務研修として、「神田伯山公演」(財団自主事業)において公演運営のOJTを行ったほか、板橋区文化会館バックステージツアーに参加した。	B	事業計画どおりに人員を配置した。また、研修計画に従い、交通安全研修、オンライン研修、普通救命救急講習、安全衛生推進者養成講習等を受講したほか、サービス介助士研修に参加し、1名合格した。	B	年間を通じて適切な人員配置と人材育成に努めた。第4四半期では、会計研修を実施したほか、キャッシュレス決済対応POSレジ操作説明会、アンガーマネジメント研修会、サービス介助士フォローアップセミナー、舞台技術研修会に参加した。また、上級救命講習に1名参加し、合格した。
		給与の支出が適切に行われているか【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	9	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	10	B		新型コロナウイルスの影響はあるものの、経営状況は健全になるよう努めている。	B		新型コロナウイルスの影響はあるものの、経営状況は健全になるよう努めている。	B		新型コロナウイルスの影響はあるものの、経営状況は健全になるよう努めている。	B		新型コロナウイルスの影響はあるものの、経営状況は健全になるよう年間を通じ努めた。
業務の一括委託が行われていないか【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】		11	B		「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市に協議のうえ一部委託している。	B		「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市に協議のうえ一部委託している。	B		「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市に協議のうえ一部委託している。	B	令和4年度(2022年度)に委託した業務について、実績の報告があり、協議どりの内容であったことを確認した。	「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市に協議のうえ一部委託している。	

令和4年度モニタリングシート【南大沢文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)						
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	業務に関連する法令一覧の更新回数【1回/年】	12	-	未実施	B		更新済(9月)	-		更新済(9月)	B		業務に関連する法令一覧を適切に更新した。			
		受付・事務スタッフのサービス介助士 取得率(臨時職員、期中の新規採用者、休職中の職員は除く)【100%】	13	-	年度末の数値をもって評価する。	100%	-	年度末の数値をもって評価する。	100%	-	年度末の数値をもって評価する。	100%	A	年間を通じて100%を維持した点を評価したい。	年間を通じて100%を維持した。		
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られているか【確認資料例: 条例、規則・日報、月報・事業報告書】	14	B		B		第2四半期 79日開館 開館日数及び開館時間を遵守した。 累計 170日開館。	B		第3四半期 76日開館 開館日数及び開館時間を遵守した。 累計 246日開館。	B	第1四半期に、新型コロナウイルスのワクチン接種会場として、休館日に一部の施設を開けていただいた。市の感染症対策施策に前向きにご協力いただいたことは評価したい。	第4四半期 75日開館 開館日数及び開館時間を遵守した。 累計 321日開館。		
			減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合)【確認資料例: 減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	15	-		第1四半期での実績なし。	-		第2四半期での実績なし。	B		障害者団体の利用における減免申請1件を適正に処理をした。	B	申請書や承認書などを確認し、適切に事務処理がなされていることを確認した。	第4四半期での実績なし。 累計1件	
			文書の管理・保存が適切に行われているか【確認資料例: ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	16	B		基準表を作成し、適切に文書の管理を行っている。	B		基準表を作成し、適切に文書の管理を行っている。	B		基準表を作成し、適切に文書の管理を行っている。	B		基準表を作成し、適切に文書の管理を行った。	
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	修繕等、施設保全が適切に行われているか【確認資料例: 事業報告書・実地調査】	17	B		B		適切に行っている。 第1四半期では交流ホールホワイエのカーペット修繕を行った。	B		適切に行っている。 第2四半期では、経年劣化により破損箇所があり汚れも目立っていたため、ホール用立て看板等の修繕を行った。	B	グランドピアノのキャスターの故障は、経年劣化によるものであった。計画的な修繕をお願いしたい。	適切に行っている。 第3四半期では、経年劣化の目立つ交流ホール音響設備電源制御ユニット、楽屋フィッティングルームカーテン、主ホール舞台床迫、交流ホール音響設備無停電電源バッテリー、主ホールグランドピアノのキャスターの修繕を行った。	B	年間を通じて適切に修繕を行った。 第4四半期では、主ホールステージピーカー、主ホールタイルカーペット、交流ホール音響設備・録音設備、展示多目的室パネル、リハーサル室レスンバーの修繕等を行った。
			備品の管理が適切に行われているか【確認資料例: 備品台帳・実地調査】	18	B		備品の管理について、利用後の確認及び日常のパトロールにより、適切に管理している。	B		備品の管理について、利用後の確認及び日常のパトロールにより、適切に管理している。 市から重要備品の照会があり、9月18日付で問題なかった旨、報告した。	B		利用後の確認及び日常のパトロールで状況を確認し、適切に管理を行っている。 備品台帳と現品を照合し、10月29日付で照合結果と備品廃棄報告書を市に提出した。合わせて、剥がれてしまった備品シールについて、市に再発行を依頼した。	B	市が再発行した備品シールは全て貼付済みである。備品リストと現物を全て照合し、相違がないことが確認できたとの報告があった。	備品の管理について、利用後の確認及び日常のパトロールで状況を確認し、年間を通じて適切に管理した。	
			利用者満足度	19	-	実施後の数値をもって評価する。	第1四半期での実績なし。(9、10月に実施予定) R3年度末で自販機業者が撤退したが、早急に代替え業者を選定し、4月11日から自販機を置くことができ、来館者に喜ばれた。	-	実施後の数値をもって評価する。 サンプルは目標以上得られる見込みとのこと。	A	サンプルを予定数以上収集し、そのうえで目標を達成したことを評価したい。		9月1日~10月31日に満足度調査を実施した。サンプルを100枚以上集める予定であったが、160枚回答を得た。調査結果は、12月13日市に提出した。総合的な満足度 ・大いに満足・満足の割合 100.0% ・大いに満足の割合 52.5%	A	満足度調査のサンプルを予定数以上収集し、より多くの利用者の声を調査に反映できるよう努めたうえで、「大いに満足及び満足」の割合が100%であったことは評価したい。	第3四半期で調査実施済。目標を達成した。	
定量的	施設や実施事業の情報をホームページに掲載し発信した回数【18回/年】	施設や実施事業の情報をホームページに掲載し発信した回数	20	-	事業に関する情報 10回 施設に関する情報 3回 計13回	-	事業に関する情報 10回 施設に関する情報 0回 計10回 累計23回	-	事業に関する情報 10回 施設に関する情報 0回 計10回 累計3回	-	事業に関する情報 3回 施設に関する情報 0回 計3回 累計26回	A	目標を120%以上の数値で達成した。自主事業を中心に積極的な情報発信に努めており評価できる。	事業に関する情報 11回 累計34回 施設に関する情報 2回 累計5回 計13回 合計累計39回 施設や事業の情報を合計39回ホームページに掲載し情報を発信した。			
		施設や実施事業の情報を、情報紙「ラララ」に掲載し発信した回数【18回/年】	21	-	事業に関する情報 14回 施設に関する情報 1回 計15回	-	事業に関する情報 15回 施設に関する情報 1回 計16回 累計31回	-	事業に関する情報 15回 施設に関する情報 1回 計16回 累計2回	-	事業に関する情報 14回 施設に関する情報 1回 計15回 累計46回	A	目標を120%以上の数値で達成した。積極的な情報発信に努めており、評価したい。	事業に関する情報 10回 累計53回 施設に関する情報 0回 累計3回 計10回 合計累計56回 施設や事業の情報を合計56回情報紙に掲載し情報を発信した。			
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	22	B		・お客様の声対応システムにより適切に対応している。 ・第1四半期では、練習室のフローリングワイパーの使用済シートの取り替えに関することや、空調設備の温度調節に関すること等、要望4件、謝辞15件が寄せられた。	B		・お客様の声対応システムにより適切に対応している。 ・第2四半期では、自販機増設の要望や、空調設備の温度調節、ハンガーや椅子の備品に関すること等、要望5件、謝辞22件が寄せられた。 累計 要望9件 謝辞37件	B		加湿器の設置要望に対して、ピアノがある部屋で除湿器を運転しているため難しい旨説明し、納得してもらっている。 累計 要望14件 謝辞58件	B	・年間を通じてお客様の声対応システムにより適切に対応した。 ・第4四半期では、リノリウムの経年劣化による取替の要望や、主ホールトイレや会議室の案内表示に関すること等、要望4件、謝辞20件が寄せられた。 累計 要望18件 謝辞78件			
定量的	経施設の節減率の管理が行われ、	南大沢文化会館維持管理経費(人件費を除く)の支出額【収支計画: 29,004千円以下】	23	-	年度末の数値をもって評価する。 第1四半期実績 1,994,430円	-	年度末の数値をもって評価する。 第2四半期実績 1,995,076円 累計 3,989,506円	-	年度末の数値をもって評価する。 第3四半期実績 6,269,459円 累計 10,258,965円	-	年度末の数値をもって評価する。 第4四半期実績 15,956,133円 累計 26,215,098円	B	消耗品の執行を抑えるなど、支出を抑え目標を達成した。期末評価をAとしたいところだが、基準に満たないためB評価とする。	第4四半期実績 15,956,133円 累計 26,215,098円			
		利用料金収入額【収支計画: 52,608千円以上】	24	-	年度末の数値をもって評価する。 第1四半期実績 11,607,800円	-	年度末の数値をもって評価する。 CM等の撮影利用が順調とのこと。 第2四半期実績 15,794,970円 累計 27,402,770円	-	年度末の数値をもって評価する。 主ホールの区分利用率が高く、利用料金収入の増につながっている。 第3四半期実績 15,769,680円 累計 43,172,450円	-	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。空き区分をできるだけ利用してもらえよう、以前利用した団体に打診するなど、積極的に取り組んでいた。	B	第4四半期実績 10,194,240円 累計 53,366,690円				

令和4年度モニタリングシート【南大沢文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)				
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的 施設の日数利用率	主ホール 75%以上	25	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期 67.1%	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期 91.1% 累計 79.4%	-	年度末の数値をもって評価する。	第3四半期 91.7% 累計 83.3%	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	第4四半期 76.9% 令和4年度日数利用率 82.1%
		交流ホール 80%以上	26	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期 70.5%	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期 84.4% 累計 77.4%	-	年度末の数値をもって評価する。	第3四半期 80.0% 累計 78.3%	B		第4四半期 77.4% 令和4年度日数利用率 78.1%
		会議室、練習室等 95%以上	27	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期 88.5%	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期 91.1% 累計 89.8%	-	年度末の数値をもって評価する。	第3四半期 91.4% 累計 90.3%	B		第4四半期 91.3% 令和4年度日数利用率 90.6%
	利用者数 80,000人以上	28	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期 26,901人	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期 29,121人 累計 56,022人	-	年度末の数値をもって評価する。	第3四半期 32,907人 累計 88,929人	A	目標を120%以上の数値で達成した。コロナ前の利用者数は概ね13万人であったことから、今後はその水準を目標とする予定。	第4四半期 26,983人 令和4年度利用者数 115,912人	
定量的 地域文化の向上と、地域に根差した施設とするため、地域での活動への参加や、支援を行う回数【40回/年】	29	-	年度末の数値をもって評価する。	青少年のための南大沢音楽祭打合せ 1回 南大沢文化祭打ち合わせ 1回 上柚木小学校運営協議会 3回 上柚木小学校入学式 1回 南大沢青少年会議 3回 南大沢協力の会 3回 南大沢総合センター五館合同会議 1回 多摩公立文化施設協議会 2回 フレスコ南大沢 ・共同防火防災管理協議会 1回 ・地球温暖化会議 1回 長池小社会科見学対応 1回 イトーヨーカドーと地域連携についての打合せ 1回 アウトレットパーク担当者と音楽祭及びダンス発表会打ち合わせ 1回 第1四半期計 20回	-	年度末の数値をもって評価する。	地域の各種団体と良好な関係性を築いており、地域に根差した文化施設として、今後の展開に期待できる。	青少年のための南大沢音楽祭打合せ 1回 上柚木小学校運営協議会 1回 南大沢青少年会議 1回 南大沢協力の会 2回 クリーンデー参加 1回 多摩公立文化施設協議会 1回 多摩公立文化施設協議会事業研究会 1回 青少年のための南大沢音楽祭現場説明会 1回 第2四半期計 9回(累計 29回)	-	年度末の数値をもって評価する。	青少年のための南大沢音楽祭打合せ 2回 南大沢文化祭2022打合せ 1回 上柚木小学校運営協議会 1回 南大沢青少年会議 2回 南大沢協力の会 3回 クリーンデー参加 1回 多摩公立文化施設協議会 1回 多摩公立文化施設協議会事業研究会 1回 青少年のための南大沢音楽祭現場説明会 1回 青少年のための南大沢音楽祭吹奏楽出演団体打合せ 1回 第3四半期計 14回(累計 43回)	A	目標を120%以上の数値で達成した。地域の様々な団体と顔の見える関係性を築いており、令和4年度では、近隣の大型商業施設の担当者とのつながりから、商業施設の舞台をダンスワークショップで利用させてもらえる運びとなった。引き続き、地域の各種団体と良好な関係を築き、新たな展開を期待したい。	青少年のための南大沢音楽祭打合せ 2回 南大沢文化祭2022打合せ 1回 上柚木小学校運営協議会 1回 上柚木小学校卒業式 1回 南大沢青少年会議 2回 南大沢協力の会 3回 多摩公立文化施設協議会 1回 多摩公立文化施設協議会事業研究会 1回 南大沢警察武道始式 1回 避難訓練コンサート打合せ 1回 第4四半期計 14回(累計 57回)	
定量的 市民が文化に触れる機会を提供するため、ロビーコンサートを実施する回数【35回/年】	30	-	年度末の数値をもって評価する。	ロビーコンサート 11回実施	-	年度末の数値をもって評価する。	ロビーコンサート 6回実施 累計17回	-	年度末の数値をもって評価する。	ロビーコンサート 14回実施 累計31回	B	目標を達成したことは評価するものの、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	ロビーコンサート 8回実施 累計39回		
定量的 地域の芸術文化活動を活性化するため、青少年対策地区委員会と協働し「青少年のための南大沢音楽祭」を実施する【観客員数のべ900名】	31	-	年度末の数値をもって評価する。 青少年のための南大沢音楽祭は令和5年2月4日に開催予定とのこと。	6/17 令和4年度の音楽祭の実施について、青少対Fブロックに所属する会長及び担当者との第1回会合を開催した。今後のコロナの感染状況はわからないが、例年参加している団体は参加に対して前向きとの報告があり、実施する方向で合意した。	-	年度末の数値をもって評価する。	9/7 令和4年度の音楽祭について、青少対Fブロックに所属する会長及び担当者との第2回会合を開催し、参加団体の確認等を行った。令和3年度(コロナで中止)より、1青少対1団体多く、6青少対16団体が参加表明した。	-	年度末の数値をもって評価する。	10/14 11/17会合を開催し、出演順・楽屋割・ポスターチラシの配布時期等について協議した。11/17出演者説明会を開催し、当日の注意事項、動線等を確認したほか、12/21吹奏楽出演者との打ち合わせを行い、楽器の搬入時刻等を確認した。	A	目標を120%以上の数値で達成した。地域の音楽祭イベントを事務局として支えており、地域に根差した文化施設としての役割を果たしている点を評価したい。	1/13 会合を開催し、出演順の最終確認・当日の役割分担・体制等について協議した。また、出演団体と調整しながら、楽器搬入順や搬入時間等の調整及びプログラム作成など準備を進めた。2/4音楽祭を実施。吹奏楽やダンス等16団体が出演し、出演者も他の演目を鑑賞するなど、熱のこもった演奏が行われた。(観客員数のべ1,540名) アンケートには、「3年ぶりの開催で感動した、元気をもらった、素晴らしい」などの意見が寄せられた。		
定性的 本市の文化芸術振興に向けた管理運営がなされていること	32	A	「八王子市文化芸術振興条例」及び「八王子市文化芸術ビジョン」に基づき、文化芸術の振興に向けた管理運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	ロビーコンサートやダンスワークショップなど、地域の文化芸術活動の担い手育成に資する取組を積極的に行っている。コロナ禍により、昨年度、ダンスワークショップの発表会ができなかったが、日を改めておさらい会という形で参加者をフォローしており、評価できる。	A	条例やビジョンに基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、以下の取組を行った。 ①「ささえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を11回実施した。 ②「つたえる」取組として「モーニングコンサート」を6月に実施した。定員を通常の半分にして行ったが、57名の来場を得た。 ③「ささえる」、「そだてる」取組としてダンスワークショップを12回実施したほか、4/3には新入生保護者説明会を実施した。また、R3年度の発表会についてコロナウイルスまん延防止等重点措置により中止としたので、4/10におさらい会を実施した。	A	条例やビジョンに基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、以下の取組を行った。 ①「ささえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を6回実施した。 ②「つたえる」取組として「モーニングコンサート」を9月に実施し、91名の来場を得た。 ③「ささえる」、「そだてる」取組としてダンスワークショップ及びバックステージツアーを実施した。ダンスワークショップは、3年ぶりの開催であり、経験者が少ない中での対応となったものの、満足度100%の結果を得た。いずれも地域の文化芸術活動の担い手育成に資する取組であり、評価できる。	A	条例やビジョンに基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、以下の取組を行った。 ①「ささえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を14回実施した。 ②「つたえる」取組として「モーニングコンサート」を12月に実施し、101名の来場を得た。 ③「ささえる」、「そだてる」取組としてダンスワークショップを12回実施したほか、10/30 生徒同士の交流を兼ねゲーム形式でワークショップを実施し、上級生が下級生の面倒を見るなど、更に交流を深めた。また、3月の発表会に向け、プログラムや衣装、レッスンの進捗状況をミーティングで確認するなど、計画的に準備進めた。	A	年間を通じて文化芸術の振興に向けた施設の管理運営が行われている。ダンスワークショップやバックステージツアー、青少年のための南大沢音楽祭などは、文化芸術活動の担い手育成につながる取組であり、参加者の満足度も高い。積極的に取り組まれていることを評価したい。	発表会の公演内容はコロナ禍の前の状況に戻り、入場者も家族だけでなく一般客にも開放する形で実施することができた。また、参加者については、年度内に2回発表会を実施したこともあり、特にR4年度新規参加者の技術レベルが格段に上達した。		
定性的 資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	33	B	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」(H-EMS)に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	市環境マネジメントシステム(H-EMS)に沿って、両面印刷やごみの計量等の取組を行った。 5月からノーネクタイ・ノー上着のクールビズとした。	B	市環境マネジメントシステム(H-EMS)に沿って、両面印刷やごみの計量等の取組を行った。 9月までノーネクタイ・ノー上着のクールビズとした。	B	市環境マネジメントシステム(H-EMS)に沿って、両面印刷、ごみの計量等を行った。 12/20環境マネジメント研修 4名参加。	B	市環境マネジメントシステム(H-EMS)に沿って、両面印刷、ごみの計量等を行った。	B	市環境マネジメントシステム(H-EMS)に沿って、両面印刷、ごみの計量等を行い環境配慮に努めた。			

令和4年度モニタリングシート【南大沢文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)				
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	個人情報保護関連研修(情報セキュリティ・マイナンバー等)への参加回数【1回/年】	34	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期での実績なし。財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期での実績なし。財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	-	年度末の数値をもって評価する。	12/6・13に情報セキュリティ研修を実施し、14人が参加した。財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	B		情報セキュリティ研修は第3四半期で実績済。財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行った。	
	防災・消防訓練の実施・参加	35	-	年度末の数値をもって評価する。	6/17 コロナ禍で実施されていなかったフレスコ南大沢全体での消防訓練が2年ぶりに開催され、2名が参加した。また、フォロー訓練を6/26日に実施し、3名が参加した。	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期は予定なし。	-	年度末の数値をもって評価する。	11/23消防訓練(部分訓練)を実施し、4名が参加した。	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	複合ビル全体で実施する消防訓練は年度内に1度開催され、参加したほか、フォロー訓練等を2回実施した。	
	AED資格取得率【100%】	36	-	年度末の数値をもって評価する。	新規採用者2名を除き、100%取得している。新規採用者は、期中に取得予定。	-	年度末の数値をもって評価する。	新規採用者4名を除き、100%取得している。新規採用者は、期中に取得予定。	-	年度末の数値をもって評価する。	100%取得している。新規採用者4名は11月に取得済。	A	年間を通じてAED資格取得率100%を維持し、緊急時に備えた。積極的な取り組みを評価したい。	3月新規採用者を除き、100%取得済。新規採用者はR5年度に取得予定。	
	個人情報の取り扱いが適切であること	37	B			財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	B			B		財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	B		財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行った。
定性的	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例：保険証券】	38	B			令和4年(2022年)度分加入済。	B			B		令和4年(2022年)度分加入済。	B		令和4年(2022年)度分加入済。
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	39	B			新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、利用申請時におけるチェックリストの提出などとともに以下の取り組みを行った。 ・主ホール、交流ホールの利用者にサーマルカメラの貸出を行った。(主ホール25件、交流ホール22件) ・ホール客席やマイク等備品の消毒を行った。 ・日常点検では、戸締まり、消灯、避難経路や防火扉付近に物が置かれていないかなど、毎日確認を行い、緊急時に適切な対応が行えるよう、安全対策に努めた。	B			B		新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、利用申請時におけるチェックリストの提出などとともに以下の取り組みを行った。 ・主ホール、交流ホールの利用者にサーマルカメラの貸出を行った。主ホール26件 累計79件 交流ホール23件 累計67件 ・ホール客席やマイク等備品の消毒を行った。 ・日常点検では、戸締まり、消灯、避難経路や防火扉付近に物が置かれていないかなど、毎日確認を行い、緊急時に適切な対応が行えるよう、安全対策に努めた。	B	他の自治体で発生した事故の事例を参考に、南大沢文化会館での取組を再点検したとの報告があった。	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、利用申請時におけるチェックリストの提出などとともに以下の取り組みを行った。 ・主ホール、交流ホールの利用者にサーマルカメラの貸出を行った。主ホール14件 累計93件 交流ホール9件 累計76件 ・ホール客席やマイク等備品の消毒を行った。 ・日常点検では、戸締まり、消灯、避難経路や防火扉付近に物が置かれていないかなど、毎日確認を行い、緊急時に適切な対応が行えるよう、安全対策に努めた。

B

期末総合評価	
所管課コメント	<p>【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 人員や有資格者の配置は、概ね適切に行われており、人材育成のための各種研修も適正に行われている。経理状況や利用料金収入についても問題は見られなかった。</p> <p>【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 開館日数、時間は適正であり、文書や備品の管理、施設の保全等も適切に行われていた。備品リストと現品の照合を行い、相違がないことを確認していた。また、施設各所の点検・修繕も適切に行われている。</p> <p>【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者満足度は非常に高い水準を維持している。また、利用者に向けた情報発信を積極的に行っている。利用者からの要望、苦情についても適切に対応している。</p> <p>【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行なわれているか】 新型コロナウイルス感染症の影響は多少あったものの、利用率は概ね高い水準にある。利用者数も昨年度の83,519人を上回る、115,912人であり、平時に近い水準に戻りつつある。南大沢音楽祭やダンスワークショップ、バックステージツアーなど、工夫を凝らして事業を展開し、地域に根差した施設としての役割に込めている。</p> <p>【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報の管理、危機管理体制の確立について、いずれも適正に行われていた。消防署、ビル管理会社など関係機関とも十分に連携が図られており、安心して施設の管理運営を任せることができた。</p> <p>【総括】 昨年度に引き続き、地域との関わりを大切に事業展開に務めており、施設の設置目的の一つである「地域文化の向上」を図っている。ロビーコンサートは、文化芸術ビジョンの「ささきえる」、「とどける」に資する取組であり、また、ダンスワークショップ、バックステージツアー、南大沢音楽祭など、子どもを主な対象とする事業は「そだてる」につながる取り組みとして評価できる。コロナ禍を乗り越え、地域文化の発信拠点としてさらに市民に広く親しまれるよう、今後の展開に期待したい。</p>